

県立多治見病院 緩和ケアチーム通信



発行：県立多治見病院 緩和ケアチーム VOL.28 2013年 7月号
文責：伊藤 浩明 編集：櫻田 亜矢子

6月29日に多治見市文化会館で 緩和ケア市民公開講座を開催いたしました

今回は、京都大学 こころの未来研究センター教授のカール・ベッカー先生をお招きし、『今を大切に生きる ～理想の終焉を見つめて～』をテーマにご講演いただきました。アメリカ人であるベッカー先生から、日本の伝統文化と風習の意義とその良さを指摘していただき、日本人であるはずの私たちが改めて気付かされるが多かったとの感想が多数ありました。アンケートでは、「日本の良さを改めて感じた」、「死後の世界の話に感動した」、「今のうちに自分で決めておくことの重要性を認識した」などの感想が多数ありました。

お暑い中、約400人という多数の皆さんにご参加いただきましてありがとうございました。



第18回日本緩和医療学会のご報告

6月21日、22日とパシフィコ横浜において、第18回緩和医療学会が開催されました。当院緩和ケアチームと緩和ケア病棟スタッフから合わせて7演題発表してきました。

自分たちの活動を整理して、客観的に評価し、更なる改善を目指すためにも学会活動は重要と考えています。今後も問題意識をもって緩和ケアの活動を継続していこうと考えております。

- *「ホスピス機能を有する急性期緩和ケア病棟」への模索 伊藤 浩明
- *「緩和ケア病棟から在宅移行した患者の緩和ケア病棟再入院理由についての解析」 伊藤 浩明
- *「当院呼吸器内科入院患者におけるせん妄を来した患者の転帰・背景に関する検討」 志津 匡人
- *「A病院の緩和ケア病棟におけるアロマセラピーの効果」 山中 洋美
- *「患者・家族参加型のカンファレンスの効果～在宅療養へ移行した2事例より～」 大津 陽子
- *「ピアサポーターと緩和ケアチームの協働によるがん患者と家族への支援」 奥村 あすか
- *「在宅医療機関合同カンファレンスシートと白板を用いた事例検討会」 山本 知枝子



8月の勉強会予定

第3回 緩和ケア勉強会

日時：8月8日 18時～19時半

場所：中央診療本館3階講堂

内容：『在宅医療機関の活動紹介 ～訪問看護ステーション陶の里～』
『緩和ケアチームスタッフからのおはなし』

- * がん看護専門看護師 奥村 あすか
- * がん化学療法看護認定看護師 櫻井 由美子

